

平成30年度（29年度決算分）高松市事務事業評価表 【事中・事後評価】

総合計画体系	まちづくりの目標	健やかにいきいきと暮らせるまち	評価担当	局名	病院局
	政策	健康で元気に暮らせる環境づくり		課(室)名	新病院整備課
	施策	医療体制の充実		電話番号	087-839-2696
	基本事業	市立病院の充実		事業実施主体	市
	事務事業	(企業会計)新病院(附属医療施設を含む)整備事業		事業期間	平成2年度～平成32年度

【事業全体概要】

事業の概要	「高松市市民病院と香川診療所を移転統合した新病院を整備し、塩江分院をその附属医療施設とする。」という基本方針に基づき、市立3病院を統合・再編する。新病院は、本市医療全体の最適化を目指すリーディングホスピタルとして、急性期医療及び地域包括ケアの後方支援機能を担える病院に整備する。附属医療施設は、「地域まるごと医療」を実践し、塩江地区の地域包括ケアシステムの構築に貢献できる病院に整備する。
-------	--

30年度概要	【新病院】 建設工事等 駐車場整備工事等 医療機器購入等 【附属医療施設】
--------	---

重点取組事業	特別重点	市長マニフェスト	4-	事務事業の類型	インフラ・施設等整備
--------	------	----------	----	---------	------------

【事業の目的】

対象(何を)	新病院及び附属医療施設
意図(どのような状態にしたいか)	新病院は、平成30年9月1日に開院する。 附属医療施設は、できる限り早期に開院する。

【事業の活動】

活動指標名(具体的にどのような活動をしたか)	単位	H27	H28	H29	H30	中期目標 H30
単年度整備率	%		4.1	43.4	35.6	83.2

【事業の成果】

成果指標	成果指標名(どのような成果が得られたか)	単位	種別	H27	H28	H29	H30	中期目標 H30
成果指標	全事業期間における進捗率	%	目標値		17.2	54.5	90.1	92.8
			実績値		14.9	58.4		
	成果指標の達成度(目標に対してどれだけ達成できたか) 新病院の建物、外構、医療機器等が整備されるとともに、附属医療施設の整備候補地の決定に至り、事業に着手した。 (目標達成度)							
成果指標	成果指標名(どのような成果が得られたか)	単位	種別	H27	H28	H29	H30	中期目標 H30
			目標値					
			実績値					
成果指標	成果指標の達成度(目標に対してどれだけ達成できたか) (目標達成度)							(達成度)

【コストの推移】

指標名	単位	平成27年度(決算)	平成28年度(決算)	平成29年度(決算)	平成30年度(予算)
トータルコスト	[円]	677,125	998,143	9,105,022	7,281,438
(事業費)	[円]	622,117	942,469	9,047,860	7,224,372
(職員人件費)	[円]	55,008	55,674	57,162	57,066

【評価】

評価ランク (A~D)	A	今後の方向性 (拡充、継続、改善継続、縮小、廃止)	継続
-------------	---	---------------------------	----

【昨年度の実施状況と課題】(評価ランクの結果に対する理由などを分析して記入)

新病院整備については、本体及びエネルギー棟の整備を図るとともに、院内保育所の工事に着手したほか、移転に係る事業者を決定し、移転計画書の策定に着手した。
また、附属医療施設につきましては、整備候補地を自然休養村センターの跡地及びその隣接地とし、道の駅及び浴場施設と一体的に整備することで検討を開始した。

【今後の事業方針】(評価ランクの結果を受けて、上記課題に向けた今後の方針を具体的に記入)

新病院整備については、平成30年9月1日の開院が遅れないようしっかりと進行管理を行う。また、附属医療施設整備については、平成30年度中に医療機能の見直しを行うとともに、基本設計業務の事業者選定を行う。

平成30年度（29年度決算分）高松市事務事業評価表 【事中・事後評価】

総合計画体系	まちづくりの目標	健やかにいきいきと暮らせるまち	評価担当	局名	病院局
	政策	健康で元気に暮らせる環境づくり		課(室)名	市民病院事務局経営企画
	施策	医療体制の充実		電話番号	087-834-2181
	基本事業	市立病院の充実		事業実施主体	市
	事務事業	(企業会計)高松市立病院運営事業		事業期間	平成28年度～平成35年度

【事業全体概要】

事業の概要	「市立病院は三つでひとつ」をスローガンに、市民病院、塩江分院、香川診療所が「限りある医療資源」を最大限有効活用しながら市民を支え、市民から「我が街の病院」と支えられる、真の意味での「市民のための病院」の実現に向け、「生きる力を応援します」の基本理念の下、「医療の質」、「医療の透明性」、「医療の効率性」の三つの視点から、良質な医療の提供と経営の健全化に取り組む。
-------	---

30年度概要	新病院（高松市立みんなの病院）及び塩江分院において、それぞれの医療機能を踏まえた良質な医療を効率的に提供する。
--------	---

重点取組事業	市長マニフェスト	事務事業の類型
--------	----------	---------


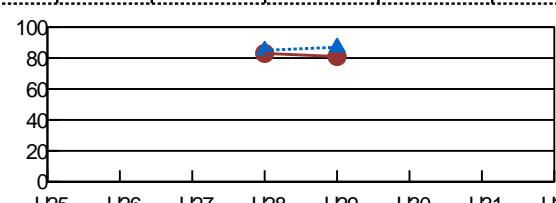
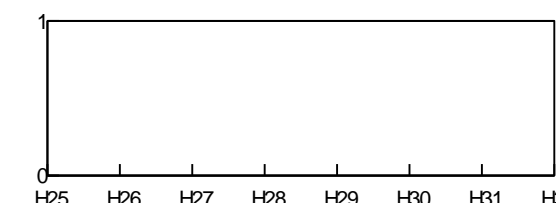
【事業の目的】

対象（何を）	医療を必要とする、またはその可能性がある市民
意図（どのような状態にしたいか）	高松市民病院は、「急性期病院としての医療の充実」、塩江分院は、「地域まるごと医療の実践」、香川診療所は「住民参加型医療の提供」に努めることにより、市民から選ばれる病院となる。

【事業の活動】

活動指標名（具体的にどのような活動をしたか）	単位	H27	H28	H29	H30	中期目標 H30
市立病院の医業収益	百万円		4,864	5,268	6,192	

【事業の成果】

成果指標	成果指標名（どのような成果が得られたか）	単位	種別	H27	H28	H29	H30	中期目標 H30
成果指標	「高松市病院事業経営健全化計画」実施施策の達成率	%	目標値		85	87		
			実績値		83	81		
成果指標	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか） 「医療の質・透明性・効率性」の向上に取り組む中で、平成29年度は、評価項目253項目中、205項目、81%で「順調」又は「概ね順調」という結果となった。 							(達成度) 93.1% 32点
	成果指標	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか） (目標達成度)						

【コストの推移】

指標名	単位	平成27年度（決算）	平成28年度（決算）	平成29年度（決算）	平成30年度（予算）
トータルコスト	[円]	7,220,364	6,906,394	6,923,510	7,669,990
（事業費）	[円]	3,048,888	2,999,935	2,922,170	3,418,573
（職員人件費）	[円]	4,171,476	3,906,459	4,001,340	4,251,417

【評価】

評価ランク (A～D)	B	今後の方向性 (拡充、継続、改善継続、縮小、廃止)	継続
-------------	---	---------------------------	----

【昨年度の実施状況と課題】（評価ランクの結果に対する理由などを分析して記入）

28年度に続き、厳しい経営状況が続いていたことから、29年度においても、運転資金を一般会計からの借入れが必要な状況となった。しかしながら、常勤医師の増加に伴う診療体制の充実に加え、若手医師を中心とした「救急受入体制」の強化や、地域の医療機関の医師から直通の電話相談ができる「ホットライン」を開設したほか、地域包括ケアシステムの一翼を担う「地域包括ケア病棟」を開設したことなどにより、10月以降患者数は増加傾向にある。

【今後の事業方針】（評価ランクの結果を受けて、上記課題に向けた今後の方針を具体的に記入）

市立病院の経営は厳しい状況にあるが、新病院への円滑な移転と運営を実施し、災害拠点病院の指定や救急医療の推進等を図るなど、良質な医療の提供と経営の健全化に取り組む、真の意味での「市民のための病院」の実現に向け業務を継続する。

平成30年度（29年度決算分）高松市事務事業評価表 【事中・事後評価】

総合計画体系	まちづくりの目標	健康やかにいきいきと暮らせるまち	評価担当	局名	健康福祉局
	政策	健康で元気に暮らせる環境づくり		課(室)名	地域医療対策室
	施策	医療体制の充実		電話番号	087-839-3805
	基本事業	市立病院の充実		事業実施主体	市
	事務事業	寄附講座開設事業		事業期間	平成24年度～平成35年度

【事業全体概要】

事業の概要	【香川大学医学部】寄附講座を設置し、過疎化や高齢化が進む地域に存在する、高松市市民病院塩江分院及び附属香川診療所をフィールドとした診療や、医学生等の教育を行うことにより、地域包括医療を実践する専門医を育成・確保する。また、保健・福祉等の関係機関と連携した地域に必要な医療の研究において、フィードバックとして、あるべき地域医療提供体制の確立に寄与する。【徳島大学医学部】寄附講座を設置し、高松市市民病院において、循環器内科学科として、消化器内科学科・総合内科及び循環器内科学科の連携した地域に必要な医療の研究を行い、高松地域における医療レベルの向上を図る。また、徳島大学においては、消化器病・循環器病疾患の病態解明・治療に関わる研究開発を推進する。		
30年度概要	【香川大学医学部】外来・訪問診療の実施、地域包括医療を実践する専門医の育成・確保、地域における保健・福祉等の関係機関との連携システムの研究。【徳島大学医学部】消化器内科学科・総合内科及び循環器内科学科診療の実施、医学生・研修医及び専門的診療能力を有する医師の人材育成、消化器病・循環器病疾患の病態解明・治療に関わる研究開発		
重点取組事業	市長マニフェスト	事務事業の類型	ソフト事業（法律による実施義務無）


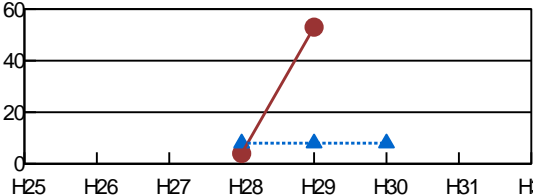

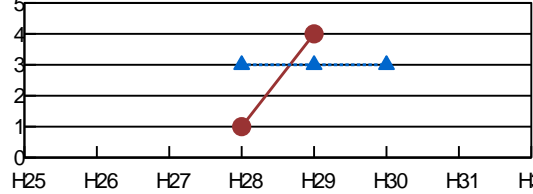
【事業の目的】

対象（何を）	医療を必要とする人
意図（どのような状態にしたいか）	地域包括医療を実践する専門医の育成・確保するとともに、保健・福祉等の関係機関と連携した地域医療提供体制の確立に寄与する。

【事業の活動】

活動指標名（具体的にどのような活動をしたか）	単位	H27	H28	H29	H30	中期目標 H30
大学からの派遣医師数	人		4	6	6	3

【事業の成果】

成果指標名（どのような成果が得られたか）	単位	種別	H27	H28	H29	H30	中期目標 H30
大学からの医学生受入数	人	目標値		8	8	8	8
		実績値		4	53		
成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか） 医学生に対応する医師数が増加したことにより、多くの医学生を受け入れることが可能となったため、平成29年度の受入数は目標を上回った。 							(達成度) 662.5% 35点
地域医療に関する講演会開催数	回	目標値		3	3	3	3
		実績値		1	4		
成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか） 「地域包括医療学講座」が、継続実施され、地域医療の実践及び地域に必要な医療の研究並びに外来、訪問診療の充実に図られるとともに、平成29年度の講演会回数も目標値を上回った。 							(達成度) 133.3% 35点

【コストの推移】

指標名	単位	平成27年度（決算）	平成28年度（決算）	平成29年度（決算）	平成30年度（予算）
トータルコスト	[円]	36,535	31,111	59,808	73,517
（事業費）	[円]	35,000	29,541	58,291	72,000
（職員人件費）	[円]	1,535	1,570	1,517	1,517

【評価】

評価ランク（A～D）	A	今後の方向性（拡充、継続、改善継続、縮小、廃止）	継続
------------	---	--------------------------	----

【昨年度の実施状況と課題】（評価ランクの結果に対する理由などを分析して記入）

塩江分院等においては、派遣医師による外来・訪問診療や宿日直の実施により、患者やその家族との信頼関係を築き、訪問診療にも力を注ぐことで、地域包括医療の研究につなげているとともに、医学生・臨床研修医に対する教育にも積極的に取り組んでいる。また、市民病院においては、高松地域における医療提供体制の維持や医療レベルの向上のため、専門性の高い診療や医学生等の人材育成が実施されている。

【今後の事業方針】（評価ランクの結果を受けて、上記課題に向けた今後の方針を具体的に記入）

地域社会のニーズに合致した地域医療の提供に向けて、地元の香川大学との連携を更に強化し、香川大学附属病院（地域医療教育支援センター）からの定期的な医療実習医学生を積極的に受け入れる中で、在宅医療を実践する医療人の育成及び、総合医育成の研修プログラムの開発支援に努める。また、平成29年3月から開設した徳島大学の寄附講座「地域消化器・総合内科分野」、及び29年11月に開設した「地域循環器内科学分野」についても、高松地域の医療提供体制の確立に向け支援に努める。